

02 藩校「敬学館」跡が確認されました 二本松少年隊士たちも通った、藩校「敬学館」の所在が明らかに

平成28年度に、藩校「敬学館」が所在していたことが予想される場所の試掘調査を実施しました。この場所は、昭和63(1988)年頃まで簡易裁判所と検察庁があり、現在は砂利敷きの駐車場となっている場所で、江戸時代の絵図面では“学校”あるいは“学館”と記されていました。

調査結果

北東側…東西17.2m、南北8.7mの建造物が確認され、通常の侍屋敷に比べて灯明具が大量に出土しました。灯明具を多く用いる施設として「学校」はふさわしいと考えられることから、絵図面で示された「学校」、いわゆる“校舎”の跡であると思われます。

南側…この建物の南側には“つくばい”と“池”が検出され、茶道具である碗が出土したことから、茶室を備えた庭園があったとみられます。

南西側…蔵跡が東西に並んで2棟が発見されました。絵図でも2棟の「武器蔵」が描かれており、今回発見された蔵跡も同じ機能をもつものかもしれません。

その他…箕輪門前の通路幅が再確認されたことも大きな成果です。箕輪門下を流れる二合田用水と平行する石列や溝跡が検出され、この石列の南北で整地土層の違いが確認され、二合田用水の水路壁から計測すると通路幅は16.2m(9間)、東西の延長は約55m確認することができました。

以上のことから、藩校「敬学館」が記録どおりの設備を備えたものであったことが明らかとなり、また城跡正面にふさわしい空間が確保されていたことが再確認されました。詳しくは、二本松城跡のウェブサイトをご覧ください。

◎問い合わせ…文化課文化振興係 ☎(55)5154



▲赤枠部分が今回の調査位置(図は丹羽家所蔵の二本松御城郭全図)

03 第64回二本松の菊人形「菊むすめ」 二本松の魅力を全国へPR

二本松を代表する秋のイベント「二本松の菊人形」。このイベントの魅力を全国に発信するとともに、二本松のPRをしてくれる『菊むすめ』の選考会が6月9日に行われ、4人の方が選ばれました。選ばれた方々をご紹介します。

《①趣味 ②抱負》

みぞい あかり
溝井 茜梨さん(向原)

①野球観戦②好きなことや興味をもったことに積極的に参加することができる長所を生かし、世界に向けて菊人形をアピールしていきたい。

さいとう みさき
齋藤 美咲さん(油井)

①温泉巡り②菊人形のほかに、温泉や桜、祭りなどの二本松の素晴らしさを、改めて自分で発見しながらPRしていきたい。

さいとう まりこ
佐藤 真莉子さん(茶園)

①食べ歩き②たくさんのイベントに参加し、楽しみながらも、最後まで責任をもって二本松を発信していきたい。

こくぶん
国分 ゆうかさん(下長折)

①映画鑑賞②二本松の魅力を最大限に伝えていけるように、活動していきたい。



写真左から、溝井さん、齋藤さん、佐藤さん、国分さん

01 ブックステップ事業

市内在住の3歳児に 絵本を無料で配布します

市では今年度より、市内在住の3歳児全員を対象に、無料で絵本を配布しています。子どもから大人まで、家族読書に親しむきっかけとして活用してください。

配布対象者 市内在住の3歳児
(平成27年4月2日～平成28年4月1日生まれの方)

今年度配布する絵本

『そらまめくんのベッド』 なかや みわ／作・絵(福音館書店)
※「家族読書」おススメ図書100選にも選ばれています。

配布期間 6月20日(水)～平成31年3月31日(日)

配布場所 二本松図書館、岩代図書館、安達公民館、東和公民館(計4カ所)

配布方法 対象となる3歳児の保護者宛てに通知と「絵本引換券」を送付しますので、配布期間内にいずれかの図書館または公民館で絵本を受け取ってください。

その他 3歳児健康診査時の待ち時間を利用した絵本の読み聞かせや、保護者向けの図書館・図書室の利用案内は引き続き実施します。



◎問い合わせ…生涯学習課生涯学習係 ☎(62)7066



▲写真の絵本は、8月健診分から配布予定のものです

ブックスタート事業も 引き続き実施しています

4カ月児健診受診者に絵本の読み聞かせを行い、その場で絵本などを無料で配布します。

配布対象者 市内在住の乳児健診(4カ月児健診)受診者

配布物 絵本(1人2冊)、イラストアドバイス集、コートバック

配布場所 4カ月児健診受診時の配布となるため、二本松保健センターまたは安達保健福祉センターでの配布となります。

◎問い合わせ…子育て支援課子ども家庭係 ☎(55)5094

『家族読書』に親しむ10の提案

ご家庭で、家族みんなで読書に親しむために、二本松市・本宮市・大玉村の教育委員会で組織する安達地区読書活動推進委員会では、以下のような提案をしています。ぜひご家庭でチャレンジしてみてください。



- ①大人が子どもに本を読んであげよう。
- ②家族で同じ本を読んでみよう。
- ③子どもが大人に本を読んであげよう。
- ④大人と子どもが交替で一冊の本を読んでみよう。
- ⑤読んだ本の感想を話し合ってみよう。
- ⑥読んだ本の感想を書いてみよう。

- ⑦読んだ本について、どんなところが心に残ったか話し合ってみよう。
- ⑧読んだ本に書いてあった良いことをやってみよう。
- ⑨家族でいっしょに図書館に行って、本を選んでみよう。
- ⑩ノーメディアデー(ウィーク)を決めて、家族で本を読む時間をつくろう。

06 『城フェスタ二本松大会』、『戊辰150年事業～二本松少年隊の灯 きらめく霞ヶ城～』 7月28日(土)、霞ヶ城公園などを会場にイベント多数開催！

× 城フェスタ二本松大会 (入場無料)

第1部

時 間 11:30～12:30
場 所 霞ヶ城公園内 千人溜
内 容 奥州白河太鼓、会津白虎隊演舞、相馬中村藩古式砲術(予定)

第2部

時 間 13:30～15:30
場 所 福島県男女共生センター
内 容 講談師・宝井琴桜氏による「二本松少年隊」の講談のほか、パネルディスカッションなど

◎問い合わせ…福島県城下町連絡協議会事務局(ファムロード(有)内) ☎024(943)1168《担当：鈴木》



× 戊辰150年事業 ～二本松少年隊の灯 きらめく霞ヶ城～ (入場無料)

開催場所：霞ヶ城公園内 第1駐車場

●12:00～ 奥羽越列藩グルメフェス

戊辰戦争の際、奥羽越列藩同盟に加盟した各藩のご当地グルメなどのほか、縁日も多数出展

●13:00～ ステージ催事

二本松少年隊の紙芝居や二本松市観光PR隊による二本松少年隊のPR、和雅美太鼓の披露のほか、二本松少年隊にちなんだ歴代の作文コンクール受賞作品の朗読など

●17:30～19:30 灯ライブ～竹原ピストル ave～

※灯ライブは立ち見となります。観覧は無料ですが、混雑を避けるため、会場内(グルメフェスを含む)への立ち入りを制限させていただく場合があります。

◎問い合わせ…二本松市戊辰150年事業実行委員会事務局(観光課内) ☎(55)5122



竹原ピストル

千葉県出身で、大学時代はボクシングで全日本選手権に二度出場。卒業後に本格的に音楽活動を始め、昨年音楽番組に出演し大反響を呼び、各地でライブチケットがソールドアウト。昨年の大晦日にはNHK紅白歌合戦にも初出場を果たす。



ave

福島市出身で、現在も同市内に在住。地元福島を拠点に、関東圏でもライブを展開し、ラジオ番組などでも活躍。東日本大震災後に制作した『福の歌～頑張っべver.～』は県内外・海外からも多くの反響があり、二本松をテーマにした『千輪咲の花』などの楽曲もある。

当日
ご来場の
皆さまへ

当日は混雑が予想されます。駐車場には限りがありますので、会場へ車でお越しの際は、タクシー等を利用されるか、乗り合わせをするなどしてお越しください。

※会場周辺では、係員の指示に従ってください。

※私有地など、近隣住民の方に迷惑となる場所には絶対に駐車しないでください。

04 二本松少年隊顕彰祭・墓前祭・講演会

二本松を守るため、可憐に散った“若き少年たち”をしのんで

戊辰戦争「二本松の戦い」で、城下に迫る新政府軍を迎え撃つべく、出陣を志願した12歳から17歳までの62人の少年たちが、大壇口をはじめ各地で奮戦し、14人が若い命を可憐に散らしました。

戊辰戦争後“賊軍”の汚名をかぶされ、ひたすら沈黙を通し続けてきた旧二本松藩士たちは、1917年に戊辰戦没者の50回忌法要を執り行います。このとき、当時の二本松町助役であり、戊辰戦争に木村銃太郎門下生として大壇口に14歳で出陣した水野好之(当時の名前は進)が、『二本松戊辰少年隊記』と題した回想録を作成し、参列者に配布しました。このとき初めて名付けられた二本松少年隊。彼らをしのび、二本松少年隊顕彰祭・墓前祭を開催します。

顕彰祭

- 日 時 7月28日(土) 10:00～
場 所 県立霞ヶ城公園千人溜(二本松少年隊群像脇)
※雨天時は二本松北小体育館
内 容 二本松剣友会による日本剣道形のほか、市内小学校児童による舞踊・居合・剣舞などの披露



▲戊辰戦争で戦死した、二本松少年隊士14人と隊長・副隊長の供養塔が、丹羽家菩提寺の大隣寺境内にあります

墓前祭

- 日 時 7月29日(日) 10:00～ 場 所 大隣寺少年隊供養塔前
内 容 市内小・中学生の代表者による、二本松少年隊にちなんだ作文発表など

講演会

- 日 時 7月29日(日) 11:30～ 場 所 大隣寺本堂内
内 容 (仮)「戊辰から150年。今、想うこと」と題し、丹羽家18代当主・丹羽長聡氏 による講演が行われます。

◎問い合わせ…二本松少年隊顕彰会事務局(観光課内) ☎(55)5122

05 「朝河の道」パネル展を開催します

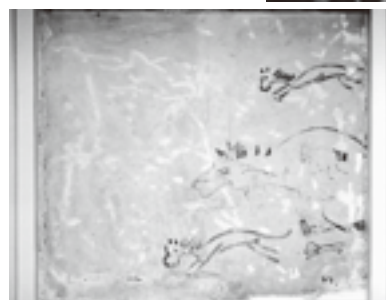
朝河貫一博士がたどった道を、写真などで紹介

『日本の禍機(かき)』や『入來文書(いりきもんじょ)』などの論文で知られる世界的な歴史学者・朝河貫一博士。博士は1873(明治6)年、二本松藩士として戊辰戦争の最前線で戦い、辛くも生き延びた朝河正澄の長男として、二本松町下ノ町新長屋(現在の二本松市根崎)で生まれます。

今年の8月11日は、博士の没後70年を迎えます。これを機に、博士が生前にたどった道を、写真などで紹介するパネル展を開催します。

- 日 時 8月4日(土)～12日(日)
9:30～17:00 ※最終入場は16:30
※4日は10:00開場
場 所 市民交流センター3階 市民ギャラリー
展示物 朝河貫一博士ゆかりの地の“写真”や“映像”のほか、安達ヶ原ふるさと村先人館に展示している“博士が使用していた遺品”など
入場料 無料

◎問い合わせ…文化課文化振興係 ☎(55)5154



◀貫一博士が幼少期を過ごした、現在の福島市立子山にあるお寺に保存されている、4歳当時の博士の落書き